



横浜訓盲学院 だより

第21号 (2011年3月号)

2011年2月28日発行

トピックス

巻頭言／3月の聖句1P
祝会／スケート教室／総合防災訓練	他2P
お餅つき／まめまき／視覚障害ミニ知識3P
臨床実習のご案内／PTAバザーのお礼	他4P

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地
URL: <http://kunmou.jp/>

事務局

TEL045-641-2626 FAX045-641-2627

E-mail: jimu@kunmou.jp

普通部

TEL.FAX045-662-1710

E-mail: futsuu@kunmou.jp

理療科

TEL.FAX045-662-1833

E-mail: riryuu@kunmou.jp

インクルーシブ教育への方向性のなかにある 横浜訓盲学院の在り方

学院長 埴 忠蔵

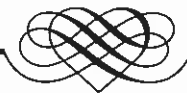
今年度は、教育、福祉において障がい者制度改革推進会議の議論の中間のまとめの年でもあります。

教育においては中央教育審議会初等中等教育分科会からインクルーシブ教育システムの論点整理がなされ、提示されることになっています。このように教育、福祉において社会は大きく変化していくことと予想されます。このような社会の変化を踏襲しながら学院の歴史、伝統をしっかりと守って行きたいと思えます。

横浜訓盲学院は、キリスト教の「愛の精神」を土台として、個々の個性を尊重し個々の能力を最大限発揮出来る環境を作り、社会に貢献できる視覚障害児、者を育てる教育を学院の理念としています。その理念の上に重度・重複障がい児教育と理療科教育があります。重度・重複障がい児教育は、人間教育の原点であります。この教育を継承し、育て、深めていく事が学院に課せられた大きな役割であり、成し遂げて行かなければならない責任でもあります。この責任を成し遂げていく事が全国の重度・重複障がい児教育に大きく貢献して行くものと思えます。

理療科においては、平成24年度に専攻科保健理療科の設置を予定し、社会に信頼される技術、知識、人間性を備えた理療師育成により一層のエネルギーを注ぎ、皆様の期待に応えて行きたいと思えます。

これからも、横浜訓盲学院は子ども達が毎日笑顔で、教師も笑顔で、お互いが信頼し合い、包容力あるコミュニケーション関係を築き、常に向上心を求め、努力を惜しまない学院でありたいと思えます。



「祈りは自分の願いだけでなく、神の恵の御計画に自分を委ねることです。」

ルカによる福音書22章42節 (ゲッセマネの祈り)

《3月の聖句》



祝会 ∞・8・∞・8・∞・8・∞

12月23日(土)、大きなクリスマスツリーが出迎える講堂で、クリスマス礼拝・祝会が行なわれました。

今年の祝会で幼小グループは、イエス・キリストの誕生劇『ページェント』、小中グループは、中学部3年生の7人を主役にしたオリジナルの劇『はたらきもののレインボー』、高等部普通科と生活科による『しょうじょう寺のタヌキばやし』が発表されました。セリフをはっきり大きな声で言えた子、本番では緊張してしまった子、面白い動きで観客の人たちを笑わせることができた子・・・児童生徒達それぞれが、これまで練習



したことを精一杯表現することができました。ご来場いただいた大勢の皆様、本当にありがとうございました。

スケート教室 ∞・8・∞・8・∞

1月7日(金)、「スケート教室」を行いました。今年も体育の授業でローラーブレードを行い、授業での練習を生かして、いざ氷の上へ。参加した児童生徒それぞれが、それぞれの滑り方で、楽しんでスケートに取り組むことが出来ました。手引きでバランスを取りながら少しずつ滑ったり、友だちと一緒に手を繋いで滑ったり、音源に向かって一人で滑ったり、肩につかまって電車の形で滑ったり・・・滑り方は様々



ですが、子ども達の活動の様子から一生懸命に取り組む意気込みが伝わってきました。おかげさまで充実した冬季特別教室を行うことができました。

総合防災訓練について ∞・8・∞・8・∞

1月25日(火)、火災時における各機関の連携を図るため、消防署・消防団・町内会の方々との総合防災訓練を行いました。

本学院には視覚障がい他、他の障がいを併せ持つ児童・生徒が大勢いますので、早く全員を避難させるには、地域の消防団・家庭防災員の方々のご協力は不可欠となります。



訓練は初期消火、通報、避難、救出、救護の訓練、煙ハウスの体験を行いました。消防署への模擬通報訓練では、生徒に通報のやりとりの緊迫した様子を感じ取ってもらうことができ、また、消防団による迫力ある放水訓練も行いました。

煙ハウスの体験では、先が全く見えないため弱視の生徒は感心を持って参加するなど大変有意義な訓練を多くの方のご協力により行うことができました。ありがとうございました。火事を防ぐため、火事を出さない、早期発見を心がけたいと思います。



『食べて健康』

皆さんは「食養」をご存じですか。食養とは「食べて養う」つまりは食べることによる養生法のことをいいます。

養生法にも様々ありますが、食養は東洋医学の陰陽五行説を元に考えられています。

陰陽は物事を二極化し、五行は五種の物質(木、火、土、金、水)を基準に法則化したものです。

食材には陰の野菜、体を冷やすものに大根、キュウリ、なすなどがあります。「秋なすは嫁に食わずな」といいますが、嫁に子どもが授かりやすいよう、体を冷やさせないという姑の優しさだとか!?

陽の野菜、体を温めるものにカボチャ、人参、ニンニクなどがあります。

五行に味を当てはたものを五味といい、酸、苦、甘、辛、鹹(塩からい)となります。

例えば、春は五行の木にあたり五臓の肝を傷つけ、イライラ、目の疲れなどの症状を引き起こします。そんな時は酢など酸味のもので味付けしたり、タケノコなど季節の野菜を使った料理で肝を補うと症状が楽になります。

食は医であり、薬です。毎日の食べ物で健康になりましょう。

学校開放「お餅つき」・∞・



1月29日(土)、学校開放の一環として行っている「お餅つき」を行いました。当日は昨年を上回る200名以上の方にお越しいただきました。大変賑やかな雰囲気

の中で、小さいお子さんからご年配の方まで楽しそうにお餅つきを体験し、つきたてのお餅の味を堪能されていました。大福作りのコーナーでは、家族連れで一緒に参加されている姿もみられ、団らんのひとときを提供できたのではと思います。また関係各所より甘酒・豚汁・バナナ・お菓子などをご提供いただき、本当にありがとうございました。

今年度の学校開放は、移動動物園・ハンドベルコンサート・お餅つきと行い、毎回大勢の方々にお越しいただきました。

これからも地域の皆様楽しんでいただける場となり、本学院の活動や視覚障がいについて知っていただける機会になれば幸いです。



季節行事「まめまき」・

2月3日(木)節分の日に普通部全員が集まり、豆まきを行いました。まずは、子どもたちが授業で一生懸命作った鬼に向かって



ボールを投げ、豆まきの練習をしました。鬼のおなには大太鼓。ボールが当たると音が鳴る仕組みです。子どもたちは、太鼓の音が鳴るたびに歓声をあげていました。練習が終わると、いよいよ



よ本番。鬼の登場です。今年は、大山教頭扮する赤鬼だけではなく、埴学院長も青鬼として登場しました。鬼が登場すると、教室は歓喜の輪に包まれ、教室中に豆が飛び交っていました。鬼が退散した後は、福の神

の登場です。今年は今村貞子名誉学院長が福の女神として登場し、お菓子を配って下さいました。楽しく豆をまいて、これで今年一年皆が健康で過ごせると思います。

視覚障害



「遠視」は遠くが良く見えるってホント？

私達の目は「カメラ」の仕組みに似ています。カメラのレンズにあたる「角膜」が外からの光を取り入れ、「水晶体」が厚みを変えて、ピントを調整します。その光をフィルムの役割をする「網膜」に映すことで、モノを見ることができるようになります。

視力が2.0以上ある場合には遠視だと思っている人や、遠くは良く見えるが、近くがぼやけて見えるという、近視と逆の見え方をする症状のことを遠視だと思っている人がいますが、これは両方とも間違いです。

「遠視」とは、近くにも、遠くにも目のピントを合わせることでできない状態の事を指しています。若い人の場合には、軽度の遠視であれば、目の調整力によっては、遠くでも近くでも良く見ることができます。しかし遠視の人は、遠くも近くも調節が必要なため疲れやすく、見え方だけでは自分で気づきにくいので、そのままにしておくと目が疲れることがあります。

黒板の文字がかすんだり、看板の文字が読みにくかったり、遠くのものが見えにくい状態を「近視」と言います。「乱視」はピントがひとつに合わない状態で、二重に見えたり、にじんで見えたりしてしまう症状のことを言います。

目の焦点(ピント)合せを行っている水晶体の弾力性は年齢とともに低下していき、近くのものにピントが合わせにくくなって、見にくくなった状態が「老眼」です。

「なんだか、見づらい…」遠くのものを見るときについつい目を細めちゃう。疲れ目からくる頭痛や肩こり…。そんな症状を感じたら、眼科へ行き、視力検査を受けることが大切です。さらに目の検査をすることで、目の病気を見つけることもできます。

臨床実習のご案内

院外臨床実習とは、学校臨床室以外の場所で生徒たちがおこなう実習です。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行なっています。

是非ご利用下さい!



※詳しくは各会館へお問い合わせ下さい。

平成23年

3月 7日(月) 鷺山竹之丸会館
 8日(火) 大和町町内会館
 9日(水) 柏葉町内会館
 10日(木) 麦田地域ケアプラザ
 11日(金) 豆口台上町会館

時間：9時～12時

料金：無料

バザーへのご協力ありがとうございました



11月20日(土)にPTAバザーが行われました。みなさんのお祈りが通じたようで、当日は天気にも恵まれ盛大に行うことができました。バザーが始まる30分前には沢山の方が正門に並んでいました。そして人気の雑貨コーナーや生花コーナーなどとともに、今年も、陶芸・木工などの児童生徒の手作り作品や、手作りのカステラ・ケーキなどが販売されました。

当日の子どもたちは、それぞれが協力し合って仕事をを行い、搬入、店作り、店番、お客さんの呼び込みに大忙しでした。ご協力いただきましたボランティアの皆様、保護者の皆様、会場にお越し下さいました地域の皆様、どうもありがとうございました。



今後の行事予定

3月 2日(水) 普通部マラソン大会
 3月 14日(月) 普通部卒業おめでとう会
 3月 16日(水) 理療科3年生送別会
 3月 18日(金) 平成22年度卒業式・修了式
 3月 22日(火)～ 春休み
 3月 31日(木) 理療科新入生
 オリエンテーション
 4月 8日(金) 平成23年度入学式・始業式

平成23年度生徒募集

- 募集定員 (各部若干名)
 - 【普通部】 幼稚部・小学部・中学部
 高等部普通科・専攻科生活科
 - 【理療科】 高等部専攻科理療科
- 募集期間 (二次募集)
 普通部、理療科ともに3月9日(水)まで随時
- お問い合わせ
 - ・普通部 電話 045-662-1710
 - ・理療科 電話 045-662-1833

国家試験について 理療科 可児 國治

2月26(土)・27日(日)の2日間、はり灸マッサージ師国家試験が、横浜市立盲特別支援学校を会場に行われます。3年間の学生生活の集大成である国家試験は、はり灸160問、マッサージ150問が出題されます。この問題の形式は、四者択一で、正答率60%以上が合格者となります。(但し、はり・灸理論問題各10問、マッサージ理論問題10問は、一定以上の正解が必要となります。)

今年の現役受験者は、はり灸試験2名、マッサージ試験4名です。これまで、数々の定期試験、5回の模擬試験をクリアし、年1回の国家試験にチャレンジ。

合格発表は、3月28日、ここからがそれぞれの「スタート」です。